

露國 征伐 單戰 勝笑話

○ 退將の人相 骨皮道人

露國の或退將が青菜に塩をお掛たやうな
 真蒼ふ顔をして、世に云ふ亡者の仲留入を為
 し、闇黒の恥を明る身に晒す氣で、賣卜者の
 處へ迷ひ込み、さうぞ運勢を見て貰ひ度と云
 ふので、賣卜者も子速天眼鏡を手に執り、
 お前さんも柘榴の本の生を變りだナ……と云
 争運に取て、餘程悪い、何故かと云ふに、柘榴
 は即ち弱露、一名を迂奴の大本とも云つて、
 全体傲慢のはなを嘆せ、多礼の美をうづ併
 此苦多抱の鼓威張の為め、自ら其他の皮
 を破り、其中より随分喰せおの種子いあれど、
 是の見掛程いへ喰へない不味いもので、お負
 其種子はイクラあつても皆暴露くよ離
 きて纏りの附ないものであるから、まてどう
 桜花國の芳しき豪華に向て決して
 勝利を以てべき苦くない、マアく命あつてのお程
 だ、一日も早く降参しなさい、イヤ、親切有
 難う……、シテ見解の何程た極強い人なら
 實戦だが、お前さんの只の一戦は負けやう、

